

2015年9月1日発行

# イキシア第69号

## 『法人運営の変遷』

理事長 寺田一郎

今年度は4月から生活困窮者自立支援法（平成25年法律第105号）が施行されました。ワーナーホームは、大網白里市と東金市、そして千葉県から事業を受託しました。千葉県からの受託は九十九里町、横芝光町、芝山町についての事業です。ワーナーホームの中での位置付けをお話する前に、簡単に生活困窮者支援制度について触れておきます。

### 生活困窮者支援制度

2013年12月6日、生活保護法改正案と生活困窮者自立支援法が国会で成立しました。生活保護受給者が215万人を越え（平成25年4月）過去最高を更新し続けており、175万8000世帯が生活保護を受給しているという背景があります。さらに被保護世帯の構成割合では高齢者世帯、母子世帯、傷病・障害者世帯は10年前との比較で減少していますが、その他の世帯は大きく増加しているという状況もあります。その他世帯とは稼働年齢世帯を指しています。これらの状況から国は生活保護制度の改正によって3兆7千億円に達した保護費（2013年度）の削減を図りました。

さらに、生活保護を受けずにぎりぎりの生活をしている生活保護予備軍がいます。生活保護法の改正では、すでに生活扶助と住宅扶助の減額が実行されてワーナーホームが支援している人たちにも影響が顕著となっています。

### ワーナーホームと生活保護

イキシアの読者はよくご存知の通り、ワーナーホームは精神障害者を中心に支援活動をしてきました。ワーナーホームの前身は、1981年に柏市で誕生した株式会社東葛工芸センターです。それから大網白里市へ移りホレブ寮を設置したところまでが「精神衛生法」の時代でした。精神衛生法が精神保健法に改正されて通所授産施設や生活訓練施設、地域生活支援センターなどの精神障害者社会復帰施設を開設しました。「精神保健法」の時代です。そして障害者総合支援法の今日を迎えています。

このワーナーホームの歴史では大きな転換点がいくつかありました。

まず、精神衛生法から精神保健法への転換は、ワーナーホームの活動である精神障害者への支援活動が公的な福祉事業として認められた画期的な時となりました。

次の転換点は、障害者自立支援法（現障害者総合支援法）の施行です。同法は知的障害、身体障害そして精神障害を統一された福祉サービスの対象としました。これによってワーナーホームの活動も精神障害だけにとどまっていることができなくなりました。しかし精神障害を専門とする、あるいは精神障害を得意としていることは今でも変わりありません。従って、知的障害、

身体障害とは言っても精神的な支援を必要とする場合に対応するという方針で行われていますが、結局は困難事例が集まって来ます。

また、中核地域生活支援センターは、福祉制度の狭間を埋める、対象者を限定しないという千葉県独自の事業です。そこに今度の生活困窮者支援制度です。さらに活動の方向性が多様になり、障害者福祉とは異質だという議論もありました。

#### その位置付け

ワーナーホームは、できる限りその時々地域のニーズに応えようとしてきました。その結果が法律の枠外でのホレブ寮でした。一連の精神障害者社会復帰施設と地域生活支援の展開でもありました。

今、ワーナーホームの活動を通して地域を見渡すと、対象が急速に拡大しています。病院や刑務所等の矯正施設からの受入れ、家族まとめた支援、医療的ケアを必要とする児童支援、障害者の就労支援などです。これらは、どれもホットな社会問題でもあります。複合的な問題を抱えていることも特徴です。その1つが生活困窮の問題です。この制度を問題解決のひとつの手段として期待していますが、貧困の連鎖、不正受給、迅速な支給決定など課題は山積しています。ワーナーホームと精神障害、その専門性を保ちながら新しい分野にどう取り組んでいくのか。問題に正面から向き合いながら、多くの議論とこれからの実践に基づいた検証が不可欠です。

## <ワーナーホームの取り組み>

### 虐待防止

虐待は、障害者福祉の理念及び権利擁護の観点から起こってはならないことですが、虐待の報告は千葉県内外を問わず後を絶っていません。このことは、当法人においても対岸の火事ではなく、虐待はどこでも起きうる可能性があるという事を示唆するものと考えています。

当法人では今年度、虐待防止マニュアルを改訂すると共に、「利用者との関わり振り返りシート」を作成し、全職員が日々の利用者支援を振り返る機会を作りました。その中には、個人情報取り扱いや、利用者との関わりで萎縮してしまうことはないかなども含めた項目も設けました。また、法人で虐待防止マネジャーを設置し、各事業所へ日々の取り組みについてヒアリング調査を行っています。

対等な立場で支援ができているかを常に考え、自分自身の言動を振り返り、利用者の視点に立ち物事を考えられる職員の育成が極めて重要なことだと考えています。(吉井)

### 職場環境

2015年7月現在、法人全体の職員数は170名を超えました。そこで、前年度から今年度にかけて、職員が働きやすい環境や労働条件を整えるために、次のような見直しを実施しました。

- ①年間休日数の増加（公休数107日→112日）
- ②時間単位での年休取得制度を新設

- ③特別休暇の拡大（リフレッシュ休暇の新設）
- ④長期勤続非常勤職員の表彰制度を新設
- ⑤サービス管理責任者や相談支援従事者への職務手当を新設
- ⑥テレビ会議システムの導入

また、妊娠・出産・育児休暇中の職員が常に複数おり、また、それらの職員が全て復職していることは、法人の職場環境を語る上で特筆すべきことだと思います。これは現場の同僚の協力なくしては果たせないことです。子育て中に助けられてきた職員は、今は助ける側に回ってくれています。

このような職員が働きやすい、職場環境をこれからも考えていきたいと思っています。（野老正）



## <納涼祭 2015>

7月25日（土）に開催しました。天候に恵まれ雨の心配もなく納涼祭日和となりました。

今年は踊るスペースを広く取り踊りの輪を大きくし、今回のテーマ「ドドーンと弾ける夏の華！」でもあるように楽しく伸び伸びと踊ってもらいました。利用者さんからは、「踊る場所が広くて周りを気にしないで踊れるから楽しいよ。」「思うように動けて良かったです。」などと感想がありました。メインイベントはお馴染みになりつつあるソーラン隊と太鼓による地上噴出花火の演出です。今回、花火担当者にどうしてもやりたいと無理にお願いしたことがあり、従来の地上噴出花火の他に、ナイアガラの滝を加えるということです。本番に向けどの花火が良いのか等、試行錯誤した結果、動きのある演出が実現。テーマに相応しい締め括りとなりました。

ボランティアは、城西国際大学より10名、文教大学より2名、大網白里市社会福祉協議会白里支部より13名、一般より3名、合計28名の参加がありました。参加した学生さんからは、「日常生活では関わる事がないような役割を振られ、何を果たせば良いのか、どう行えば効率が良いのかなど、考えるきっかけになっていい勉強になりました。」等の意見がありました。（吉野）



## <夏のレクリエーション>

### ホレブ・ノバハイツ白里（日帰り旅行）

7月9日、利用者19名、職員7名でNHKスタジオパークへ行ってきました。館内は現在放送中のドラマから以前放送していたドラマのポスターや実際に使用していた道具、等身大パネルがありとても楽しめました。また、芸能人を交えた実際の生放送も見る事ができ全員が夢中で観ていました。昼食は本場中華料理に舌鼓しました。「良かった。」との声も聞け、事故もなく帰寮でき充実した1日となりました。（相京）



### ワークショップしらさと（大人の社会化見学）

利用者さんと職員との交流の場、また普段とは違う1日を演出出来る様に企画を考え、7月20日に千葉ヤクルト工場見学、千葉港より船に乗り海上より千葉ポートタワー、工場を眺めながらクルージングを楽しみました。当日は天候にも恵まれ、参加者と楽しい一時を過ごしました。（星野）

### ワークショップ鎌取（流しそうめん大会）

7月20日ワークショップ鎌取利用者23名、退所者1名、フジール入居者1名、職員13名で流しそうめん大会を開催しました。当日は、晴天に恵まれ、環境整備班手作りの下総精神医療センターの竹を利用した台で流すそうめんは、格別で作業の疲れが癒されました。（千葉）



### ワークショップ茂原（鴨川日帰り旅行）

7月13日（月）利用者6名と職員3名で鴨川シーワールドへ行ってきました。

青い海を見て、心地よい潮風を浴びて、日頃の作業の息抜きになったと、皆、大満足でした。

バイキング昼食やシャチのショー、たくさんの綺麗な海の動物達に癒され、笑顔の1日を過ごせました。（磯野）

## <おしらせ>

### 日中一時 てくてく

柏拠点では、相談支援を出発に日常生活で胃ろうからの栄養注入や気管切開からのたんの吸引など、医療的なケアを必要とするお子さんやご家族の支援をおこなっています。

医療的ケアを必要とするお子さんが地域で健やかな生活を継続する為には、地域の支援体制とともに、ご家族の心身の健康がなにより大切です。そのための支援の必要性が理解され、柏市では今年度、日中一時支援医療的ケア加算が創設されました。当法人でも、放課後等デイサービスの空き時間を活用し、日中一時支援てくてくを開始しました。日中一時支援は、一時的にお子さんをお預かりし、ご家族がほっとひと休みできるため、また、医療的ケアを必要とするお子さんがご家族以外の社会とつながる体験をする為の支援です。

医療的なケアを必要とするお子さん達にとっては、栄養も吸引もみんなにとってのお弁当やお鼻をかむことと一緒にです。必要なケアが実施される体制さえあれば、子ども達は他の子ども達とにも変わりません。この場所から、てくてくと…この子達が当たり前にご過せる地域が広がっていることを願っています。(大久保)

### みんなのまつりバザー募集

10月25日(日)に「みんなのまつり」を開催します。毎年恒例のバザーも開催しますので、ご家庭で眠っている品物がありましたら、是非ご提供ください。

### ホームページリニューアル

事業所の検索などしやすくなりました。新しい情報も随時アップしていきます。ぜひご覧ください！

<http://www.wanahome.or.jp>

## <ペジューブル 3店舗合同 食欲の秋特集>



ペジューブルの秋の主演といえば、食パンとデニッシュです。食パンは3店舗を通して多くのお客様にお買い求め頂く人気商品です。種類も3種類以上あり、白ゴマたっぷりレーズンブレッド、天然酵母と全粒粉入りグラハム食パンなど、いずれもその香りをかぐだけで幸せな気持ちになります。また、一からペジューブルで自社製造しているデニッシュもこの秋注目です。3種類のナッツ類がぎっしりのヌスペストリー、赤くて甘酸っぱいハニークランベリー。各店舗でイチジク、種無しブドウ、モンブランといった季節のデニッシュが作られます。ペジューブル3店舗からこの秋、憩いと幸せを届けます。(菊池)



### ペジューブル1号店 (柏)

夏が終わり涼しくなると「食べたい」欲求にかられる食欲の秋。そんな時はペジのパン☆

定番の「食パン」は、風味が際立っており、リピーターも付くほどの大人気商品です！一部メディアから「魔法の食パン」と呼ばれています。その他にも季節のフルーツデニッシュ、豊富な惣菜パンなど、PAISIBLEのパンがあなたの食欲を、極限まで引き出させてくれ、優雅な秋へと導くでしょう!!! (上野)



### ペジューブル2号店 (茂原)

茂原店の売れ筋No.1は食パンです。連日売り切れになるほどで、もちもちの食感とほんのり甘い優しい味わいが人気です。No.2はクリームチーズと克蘭ベリーで、ドライ克蘭ベリー入りの生地クリームチーズを包んで焼き上げました。NO.3はプリンです。材料は卵、牛乳、生クリーム、砂糖のみでお子さんも安心して食べられます。秋に向けてかぼちゃのタルトや栗あんぱんも発売します。ぜひご来店下さい。(安藤)



### ペジューブル3号店 (鎌取) ペジューブル鎌取店人気商品ランキング!

4月17日にオープンしたペジューブル待望の3号店です。広々とした工房で毎日利用者・職員がパン製造をしています。さて只今の鎌取店人気ランキング1位 クランベリークリームチーズ (天然酵母のフワフワ食感が大人気) 2位 生ハムサン ドウィッチ (柚子胡椒と2種類のレタスがアクセント) 3位 シーザーサラダ (たくさんの具材でとってもリーズナブル) 今後も秋に向け、新作が続々発売される予定です。ぜひ、お越しください。(千葉)



## <カトリア会>

### 《 第1回勉強会 》

5月30日(土)、カトリア会総会が終了後に、パンプキンハウスにおいて第1回勉強会を開催致しました。

利用者の生活、活動拠点となる事業所も幅広くなってきました。それに伴い、家族の要望も多岐にわたりますが、今回は3つのテーマについて伺いました。

- 1 講演「ワーナーホームの今までとこれから」  
寺田一郎理事長
- 2 計画相談についての説明及び事例紹介  
三好恵里子千葉拠点統括施設長
- 3 現場の職員と利用者の関わりを中心に日頃の様子を紹介  
武藤朱里主任



講演の後に家族の皆さんからいただきましたご意見を紹介いたします。

「寺田理事長さんの講演内容が素晴らしくて、今回出席出来なかった方たちにも聞かせてあげたいと思いました。」

「ホレブ寮の定礎石『信望愛』についての説明。これが私たちの基礎理念です。という言葉に胸がいっぱいになりました。」

「最近の現場の様子が、映像を見ながらだったのでわかりやすかったです。」などです。

事業のなかでも明るい話題は、柏、茂原、鎌取と次々に展開されたパン工房です。テレビの情報番組にも取り上げられています。経営面で軌道に乗せるには大変なご苦労があると存じますが、利用者の就労間口を広げるためにも頑張ってくださいと思います。

今回講演下さいました3氏には、お忙しいなかお時間を割いてご協力いただきました。御陰様で大成功でした。(寺田美代子)

### 《 第3回カトリア会交流会 》

7月12日(日)、千葉駅前の会場で第3回カトリア会交流会を開催致しました。

今回の出席者は11名と、少なかったのですが、「どうしても都合が悪くて出席できないが、是非、これからも交流会を続けてほしい」と嬉しいご意見もいただいております。

参加者が順次自己紹介や近況などを話しました。初めて出席された方も何名かいらっしまったのですが、それぞれ胸の内を語って下さいました。

家族の心配事はお互いに理解できます。だからこそ出席者の頑張りも拝察することができます。

日頃、家族であっても利用者の考えていることや気持ちがわからないと悩んでいる方も少なくないと思います。読んだ本のなかで気になった障害者自身の言葉を紹介させていただきます。

作家 東田直樹さんの著書『跳びはねる思考』(2014年 イースト・プレス)から

～昔の僕は、出口のない真っ暗なトンネルの中にいるようでした。どんなに困っていたか、悩んでいたか、誰にもわからなかったでしょう。

僕の望みは、ただ抱きしめて「大丈夫だよ」と言ってもらうことでした。そうしてもらうことができて初めて、人間としての一歩を踏み出せたのです。幸せな大人になれたのは家族のおかげです。

僕が流した涙と同じくらい、家族も泣いてくれたことを、僕は忘れません。～

～僕の望みは、気持ちを代弁してくれる言葉かけと、人としての触れ合いだったと思います。

どんな自分も受け止めてもらえるという体験ができたからこそ、僕は壊れずに生きてこられたのでしよう。～

ほんの数行の抜粋ですが、ここには大切な言葉が書かれています。

「カトリア会のみなさまには、ぜひ厳しい目でワーナーホームを見ていただきたい。」と寺田理事長さんが席上お話し下さった言葉を、私たち家族は肝に銘じておかなければなりません。(寺田美代子)



### 《 カトリア会（家族会）入会ご案内 》

カトリア会は、社会福祉法人ワーナーホームの家族会で、「①精神障害者の親の悩みは切実なものであり、同じ悩みを持つ者が、慰め合える機会が欲しい ②社会復帰を目指す利用者に対し側面的な協力も考えていかなければならない」(立ち上げ当初の案内文より抜粋)という目的で平成元年にご家族の有志によって立ち上がりました。

カトリア会は今まで居住施設のご家族を中心に年数回の会合を開き情報交換を行ってきましたが、障害者総合支援法によりめまぐるしく制度が変化している現在、通所施設や地域生活支援センターご利用のご家族とともに情報の共有やコミュニケーションを図っていきたくて思っております。

多くのご家族に参加していただき、より有益な会にしていきたいと思っておりますので、ご入会の程よろしくお願ひ申し上げます。

なお、年会費は3,000円となります。

## <ワーナーホームの主な動き>

### 《5月》

- バーベキュー「BBQで地域の方との交流を深めよう」～だいち～
- ピクニック（千葉市昭和の森）～ホレブデイ自立訓練～
- 心のふれあいフェスティバル（千葉市民センター・中央公園）～ホレブデイサービスセンター～
- 運動会～たんぽぽセンター～

- ・就労者ミーティング「バーベキュー」～長生ブリオ～

## 《6月》

- ・片貝漁港と海の駅九十九里パーク～ホレブデイサービスセンター～
- ・保護者懇談会～すくすく～
- ・あじさい鑑賞（長南町野見金公園）～ホレブデイ自立訓練～
- ・日帰り旅行（谷津バラ園・グリーンタワー幕張）～フジエール～
- ・外出プログラム（海ほたる・木更津アウトレット）～長生地活～
- ・バイキング外食（スイーツパラダイス柏）たんぼぼセンター～
- ・交流会（就業者ミーティング）～山武ブリオ～
- ・「ふる一つ」コンサート～たんぼぼセンター～

## 《7月》

- ・日帰り旅行（NHKスタジオパーク）～ホレブ・クロワール・ファミーユ～
- ・流しそうめん～フジエール～
- ・就労者女子ミーティング～長生ブリオ～
- ・納涼祭～大網拠点事業所～
- ・日中一時見学会～すくすく～
- ・カトリア会食事会

## 《8月》

- ・外出プログラム（一宮町花火大会）～長生地活～
- ・大網高校茶道交流会～ホレブデイサービスセンター～
- ・夏レク花火大会～ホレブ・クロワール・ファミーユ～
- ・夏レクタ涼み会～だいち～
- ・夏祭り～すくすく～
- ・映画鑑賞～たんぼぼ～
- ・海遊び（白里海岸）～ホレブデイサービスセンター～
- ・流しそうめん～長生ブリオ～

## <寄付・会費をくださった方々>

平成27年4月～平成27年7月

### 《寄付》

陣内操子・田邊裕和・金子延代・大網白里市社会福祉協議会・眞起工業(株)・久保田文造・萩原衛

### 《イキシア会員》

### 〈正会員〉

寺田美代子・小幡秀夫・中村卓・今井清光・源吉之助・安蒜公子・村上隆三・武本三枝子・木村勲

田中孝放・佐久間道夫・谷次忠・杉山優子・富澤祝夫・大森民人・竹内伸夫・田村正倫・林日出夫  
八巻哲雄・三田久子・若菜良子・秋庭弘和・村山和雄・田中修一・桑島克子・茂腹敏明・中川昌美  
佐藤勝美・鈴木とし子・林サト・工藤秀久・国井誠一郎・萩原衛・治田秀雄・南八街病院・鶴泰裕  
大屋祥子・合津みどり・司須美子・寺井紀久子・藪崎歌子・新保瑠美子・中村光子・駒米裕子・上村フク  
社会福祉法人舟伏・かたくり会・久保田文造・立沢建設株・(有)つくもタクシー・(医)静光園第二病院  
日本精神科看護協会

〈賛助会員〉

中村和郎・川井由香子・宮負栄・稲沢公一・高橋清久・斉藤勝義・竹谷裕子・西村弘・浅香計伊子  
福山直美・村井誠・野口よし子・佐藤節夫・鈴木厚・丸山多恵子・室谷勉・出居ハル・中西小夜子  
金子延代・佐藤壹三・内山潤哉・小川伸子・竹村堅次・渡邊路子・吉井和弘・長尾佳子・小幡秀夫  
泉 惇・萩原良子・清野恵美子・桑折敏樹・布施良子・大久保昭・青木栄・日下忠文・穂坂あい子  
西田佳子・松永宏子・湯浅真純・鈴木隆夫・岩井満・長友泰史朗・鈴木真美子・松田利子・飯田忠  
宮尾美代子・小島初恵・飯田智・富沢正昭・石井丸子・成島麻子・土屋明美・飯倉照平吉村義信  
坂本義夫・丸山囃雄・秋元伸夫・遠藤雅子・住友雄資・加藤壯・渡辺啓治・島田栄子・久田正次  
大橋洋子・竹田ひさ・市東昌幸・大谷啓子・秋山茂樹・有蘭宏之・齋藤佐貴子・小野喜弘・望月昂  
大網白里市社会福祉協議会・岩下澄子・匿名希望

(順不同・敬称略)

## イキシア入会のお願い

イキシア会は利用者とその後家族及び一般有志からなるワーナーホームの支援団体です。活動においてご理解を頂き、ご支援・ご協力を賜ります様よろしくお願いいたします。

広報イキシアは、年3回(1月・5月・9月)発行されます。

〈会費〉 賛助会員 3,000円 正会員 10,000円

## 〈編集後記〉

さっそく、リフレッシュ休暇制度を利用して、家族とのんびり夏の疲れを癒してきました。あっという間に9月です。気分もすっきり頑張っていきます。(M)